

新役場庁舎建設だより

3



外観イメージ図(南正面から) 今後変更の場合があります。

◆新庁舎建設基本設計住民説明会

10月22日(木)エコールみよたにおいて新役場庁舎基本設計の内容について、説明会を開催しました。基本設計の主な内容は次のとおりです。

【目的】

現庁舎は、昭和41年に建設され、49年が経過しま

した。

建物・設備の老朽化や耐震性が低いこと、事務所の分散などさまざまな問題を抱えています。本計画は、これらの問題解決と、御代田町の新たな顔となる施設として整備することを目的としています。

【配置計画および各階計画】

建物の配置計画および各階計画は5ページをご覧ください

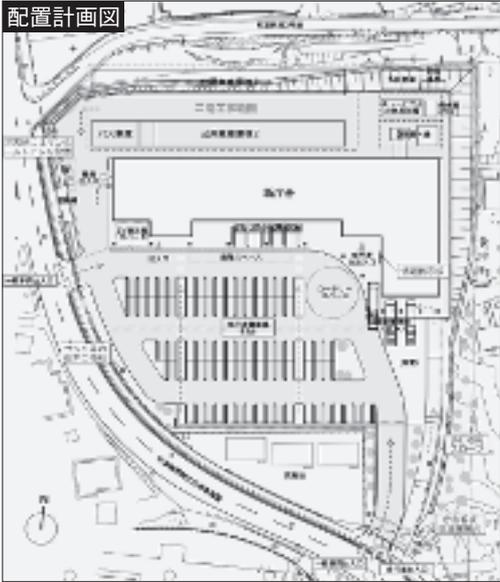
1.新庁舎整備基本方針

- ①災害時に防災の拠点となる庁舎
- ②経済的、合理性に優れた庁舎
→華美な装飾や無駄な空間を排除したシンプルな施設
→自然エネルギーの活用
- ③町民に利便性の高い庁舎
→高いサービスが提供できる窓口機能
→保健センターの併設
- ④安心安全の拠点となる庁舎
→町民情報に対する安全性の高い庁舎
- ⑤エコールみよたと調和した景観形成
- ⑥敷地を有効活用した施設
→植栽等を有効利用

2.設計コンセプト

- ①町民が利用しやすい平面
→利用の多い窓口を1階に集約し、バリアフリーを徹底したわかりやすく利用しやすい平面計画
- ②職員が働きやすい平面
→ワンルームの執務空間と機能ごとに集約した計画で、利用者にもわかりやすく、職員も連携しやすい計画
- ③将来の変化に対応した働きやすい庁舎
→将来の組織改編など柔軟な対応ができる計画
- ④自然を生かす、取り込む
→開放的なカーテンウォールにより、既存の樹木や周りの景色を建物内に取り込む計画

配置計画図



【基本設計までの経緯】
 現庁舎は、平成22年に実施した耐震診断では、構造耐震判定指標として定められているI s値0.7を満たさない箇所があり、耐震補強工事を必要とする判定を受けました。
 耐震補強工事を実施するには、建物が老朽化していることから大規模な改修や改築、保健福祉課を配置するスペースの確保など多額の経費を要します。庁舎を新築した場合の工事費との比較を検討する必要があるとの認識により第1段階として議会と町による「御代田町役場庁舎改築等検討委員会」を組織し、課題整理と庁舎の方向性について協議を始めました。

下さい。新庁舎はメルシャン跡地の西側約1万㎡の敷地を利用し、保健センター機能を備えた新庁舎（3階）、公用車庫、来庁者駐車場、EV車充電設備、マンホールトイレ等を計画します。
 なお今後、実施設計で変更になる場合もあります。

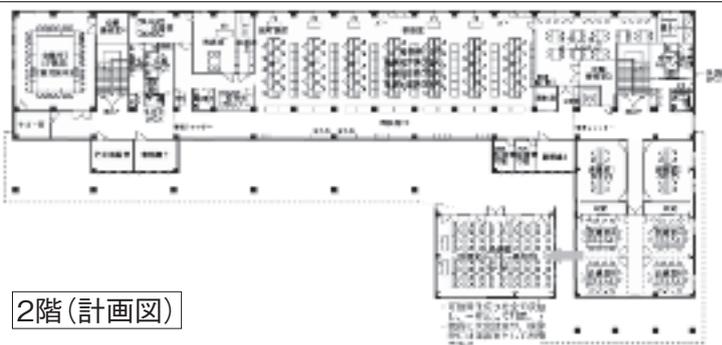
立面計画図



3階(計画図)



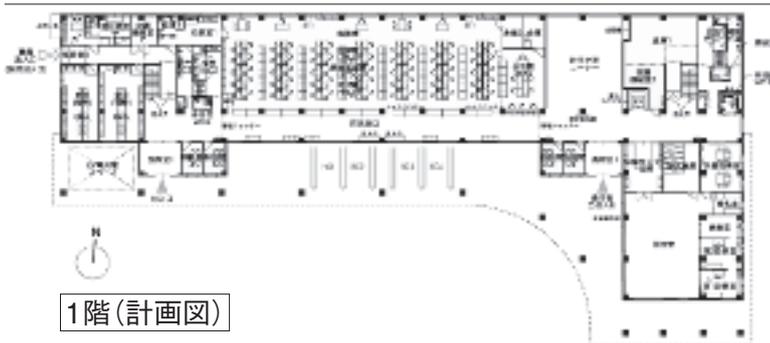
議場イメージ



2階(計画図)



執務室イメージ



1階(計画図)



窓口イメージ